

[公益6] この法人の事業に対する理解の普及

6-1 機関誌の発行、情報公開

<事業計画>

公益目的事業について理解と協力を得ることを目的に、全国の大学及び関係機関に向けて機関誌「大学教育と情報」の発行とインターネットによる情報発信を行う。また、全国の大学関係者に理解の普及を拡大するため、九州、関西・中四国、東海、東北、北海道の5地域で事業活動報告交流会を実施する。

<事業の実施結果>

「事業普及委員会」及び「事業普及委員会翻訳分科会」を継続設置して、機関誌の発行、海外情報の選定・翻訳、インターネットによる情報公開・配信・意見収集、事業活動報告交流会を通じて、本協会が実施する公益目的事業について理解の普及を行った。以下に、委員会及び事業活動報告交流会の活動状況について報告する。

事業普及委員会、翻訳分科会

事業普及委員会は、4月18日、6月13日、8月7日、8月22日、11月4日、12月25日、令和2年2月20日、3月18日に平均4名が出席し、8回開催した。公益目的事業の理解普及を推進するため、年間4回の機関誌「大学教育と情報」の発行とホームページで情報公開を行った。また、事業普及委員会では EDUCAUSE の機関誌について紹介すべき内容の吟味を行い、EDUCAUSE の翻訳許可を受けて、2019年度6月号のNo.1において、「スマートマシンと人間の専門知識：高等教育の課題 (Smart Machines and Human Expertise: Challenges for Higher Education)」を掲載した。以上の他、公益目的事業の理解の普及を図るため、事業活動報告交流会を関東除く5地域で実施した。

(1) 機関誌「大学教育と情報」の発行

6月、9月、12月、3月の4回に亘り、80頁の規模で全国の大学・短期大学、文部科学省・関係団体、賛助会員を対象に以下の方針で、各11,000部発行した。

- ① 公益目的事業に対する理解の促進を図るため、事業活動報告に加えて、国や関係機関の審議動向、マスコミ報道などを踏まえ、教育の質向上を目指したSDGs(持続可能な開発目標)教育への取組み、イノベーション人材への取組み、AI人材への取組み、業務改革への取組みについて、時宜に適ったインパクトのある情報を提供するようにした。
- ② 上記の方針に沿って、特集では、「SDGs(持続可能な開発目標)と学生主体の教育・学修の取組み」、「AI時代の人材育成」、「イノベーションの担い手を育成する起業教育-1」、「ICTで業務改革」を掲載することにした。
- ③ 事業活動報告として、平成24年度に刊行した「大学教育への提言」(未知の時代を切り拓く教育とICT活用)に掲載の5年先を想定した30分野の「ICTを活用した教育改善モデル」を引き続き毎号掲載することで、大学に理解の普及を働きかけることにした。また、私情協ニュースとして、公益活動の事業経過を詳細に報告することにした。
- ④ 政府関係機関事業紹介として、国立情報学研究所のクラウドサービス、オンライン認サービス、研究データ管理等に関する関係情報を掲載した。

以下に、2019年度に4回発行した目次を掲載する。

大学教育と情報 (2019年度 No.1 : 令和元年 6月)

- ・ 巻頭言「リベラルアーツ×AI で人生の構想力を磨く」 郭 洋春
- ・ 特集「SDGs (持続可能な開発目標) と学生主体の教育・学修の取組み」
 - 「金沢工業大学における学生主体教育としてのSDGs活用の取組みと課題」 平本督太郎
 - 「創価大学におけるSDGs教育の取組み」 田中 亮平
 - 「東京工科大学のサステイナブル工学教育」 芝池 成人
 - 「関西大学商学部でのカードゲームを活用したSDGs教育の試み」 長谷川 伸
- ・ 海外ニュース
 - 「スマートマシンと人間の専門知識：高等教育の課題」
Smart Machines and Human Expertise: Challenges for Higher Education
Diana.G.Oblinger
- ・ 政府関係機関事業紹介
- ・ 私情協ニュース
- ・ 事業活動報告 「ICTを活用した教育改善モデル (建築学・薬学分野)」 など
- ・ 募集
- ・ 賛助会員日より

大学教育と情報 (2019年度 No.2 : 令和元年 9月)

- ・ 巻頭言「世界で輝く WASEDA と ICT の活用」 田中 愛治
- ・ 特集「AI時代の人材育成」
 - 「AI時代の人材育成に向けた政府の取組み」 森 晃憲
 - 「数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム分科会の取組み」
 - ーデータサイエンス教育の普及に向けてー
 - 「データサイエンスのモデル教材開発の取組み」 丸山 祐造
 - 「平和に資するAI人材を一立教大学の取組み」 清水 昌平
 - 「人間中心のAI社会原則について」 郭 洋春
- ・ 政府関係機関事業紹介
- ・ 私情協ニュース
- ・ 事業活動報告 「ICTを活用した教育改善モデル (経営学・体育学分野)」 など
- ・ 募集
- ・ 賛助会員日より

大学教育と情報 (2019年度 No.3 : 令和元年 12月)

- ・ 巻頭言「社会で学び続ける“基盤”を考える」 睦道 佳明
- ・ 特集「イノベーションの担い手を育成する起業教育-1」
 - 「単位認定科目で起業を体験する」 井上 達彦
 - 「授業とビジネスプランコンテストを組み合わせた起業教育の取組み」 筒井 研多
 - 「日本一多くの学生起業家を生み出す大学への挑戦」 寺本 大修
 - 「ビジネス創造を通して社会を彩り豊かにする女性人材の育成」 薬袋 貴久
 - 「阪南大学における起業教育」 加藤 清孝
 - 「山形大学における次世代アントレプレナー育成」
～地域活性化を体現する尖った人材の育成～ 小野寺忠司
- ・ 政府関係機関事業紹介
- ・ 私情協ニュース
- ・ 事業活動報告 「ICTを活用した教育改善モデル (社会福祉学分野)」 など
- ・ 募集

大学教育と情報 (2019年度 No.4 : 令和2年 3月)

- ・ 巻頭言「データサイエンス教育研究の新展開：社会に開かれた大学へ」 松本洋一郎
- ・ 特集「ICTで業務改革」
 - 「ロボット(RPA)を中心としたデジタルトランスフォーメーションへの取組み」 神馬 豊彦

「ICTを活用した近大流業務改革の取り組み—背景・経緯と展望」

牛島 裕

「ノンプログラミングでの学内申請システム化による業務効率化・紙廃止の取り組み」 岡 潤也

- ・ 政府関係機関事業紹介
- ・ 事業活動報告「ICTを活用した教育改善モデル（国際関係学・被服学分野）」など
- ・ 募集
- ・ 賛助会員だより
- ・ 私情協ニュース

(2) インターネットによる情報公開・配信・意見収集

本協会の公益目的事業の活動を社会に紹介し、理解の普及を図るため、ホームページの仕組みを事業活動に連動できるよう、「望ましい教育改善モデルの探究」、「情報教育のガイドライン」、「高度な情報環境づくり」、「大学連携・産学連携の推進」、「教職員の教育力向上」、「高度情報化の支援」、「分野別研究発表の検索」を設定し、事業活動としての成果物及び各種委員会の議事概要を公開した。また、事業ごとにインターネットで意見・要望を収集するため入力サイトを設け、事業の点検・評価・改善を行っている。

JUCE 公益社団法人 私立大学情報教育協会
Japan Universities Association for Computer Education

サイト内検索 検索

- 協会の概要
- 事業計画
- 法人情報
- 会員情報
- 委員会活動
- 会議・大会・講習会案内/報告
- ICT利用研究受賞論文
- ICTを活用した分野別研究発表
- 教育コンテンツ相互利用システム
- 機関誌 大学教育と情報
- 報告書/刊行物

望ましい教育改善モデルの探究 人口70億人時代の情報ネット社会を創造するためのフォーラム
大原 茂徳氏 佐藤 一樹氏 田中 浩一郎氏 中村 慎二氏 沼藤 修氏

情報教育のガイドライン

高度な情報環境づくり 第3回 ~新たな価値を創出するビッグデータの活用~ 動画はこちら

大学連携・産学連携の推進

教職員の教育力向上 第2回 ~未来を創るソーシャルネットカ~ 動画はこちら

高度情報化の支援

分野別研究発表の検索 第1回 ~情報ネット社会の期待と課題~ 動画はこちら

「大学教育への提言」—未知の時代を切り拓く教育とICT活用
平成24年11月刊行 PDFでの閲覧はこちら

国家試験 ITパスポート試験

PBL・eポートフォリオの講演コンテンツを追加
講演・発表デジタルアーカイブのネット配信